



TITLE:

冥王星の1942年 (1942年の天文年鑑
)

AUTHOR(S):

CITATION:

冥王星の1942年 (1942年の天文年鑑). 天界 1941, 22(247): 24-24

ISSUE DATE:

1941-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168303>

RIGHT:

冥王星の1942年

12年前に双子座の δ 星附近で発見された此の冥王星は、太陽系の最外部を極めて徐々と其の軌道によつて運行してゐる。今1942年の初頭には、蟹座の r 星より北々西 14° ばかりの邊を逆行してゐるが、四月14日に同座30番星の南隣で停留となり、それ以後は順行する。曆の上では、一月の末に對衝となり、地球から37.382單位の距離に近づくとは言へ、やはり大した遠距離であるし、光度も、眼視で14.5、寫眞で15等級であるから、觀測には世界一の機械が必要である。

六月末に火星と會合し、七月末は水星と相前後して、太陽と會合し、八月下旬には金星と會合することになつてゐるけれど、冥王星の黄緯が 5° もあるため、視野中で他の大遊星と近づくことは無い。

十月からは曉の星となり、十一月8日に r 星の北東邊で停留し、年末には幾らか其の速度を増しつゝ、太陽から離れて行く。

冥王星の日心位置

毎日9時	日心黄經	日心黄緯	動 徑 單位	光 度 m
一月 1 日	124 39.2	+4 34.9	38.382	14.5
三月22日	124 58.0	+4 39.9	38.326	14.5
六月10日	125 16.9	+4 45.5	38.271	14.5
八月29日	125 35.9	+4 51.0	38.215	14.5
十一月17日	125 55.0	+4 56.6	38.160	14.5
翌二月 5 日	126 14.2	+5 02.2	38.104	14.5

1942年の彗星界

今1942年内に近日點へ歸つて来る週期彗星として期待されるものは下の8星である。

星 の 名	週 期	近日距離 單位	離心率	引 數	昇交點	傾 斜	歸來
グ リ グ	5.02	0.908	0.691	355 18	215 34	17 28	5月
第二シワスマン・ワハマン	6.43	2.094	0.394	357 58	126 06	3 44	2月
ペ ラ イ ン	6.59	1.195	0.660	166 52	242 24	15 44	10月
ラインムート	7.23	1.857	0.503	8 41	124 58	8 04	8月
ホ ー ム ズ	7.29	2.318	0.384	21 35	329 36	19 35	10月
テ ル フ	8.33	2.450	0.404	160 49	204 11	27 16	6月
フオーブス	6.38	1.525	0.555	258 46	25 47	4 36	
テ イ ラ	6.76	1.558	0.546	354 47	113 55	15 37	

此の8つの彗星のうち、最も古い時代からの馴染みの星は**テルフ**星である。1884年にドイツの故テルフ博士に発見されたもので、今までに7回も出現してゐる。こんどが第8回の出現である。平均週期が8年4ヶ月で、六月に近日點に歸つて来る豫定であるが、地球との關係から言ふと、六一七月頃に発見され、